

東日本大震災復興支援プロジェクト

第30回活動報告



1. だだちゃ豆やカットメロンなど鶴岡の夏の味覚を提供。猛暑だったためアイスクリームが真っ先に売り切れる人気。 2. 子供達も多く来場しました。カブトムシのプレゼントに大喜び。 3. プロジェクト参加者が現地の子供達のためにとこの日に向けて飼育してきたカブトムシ。目が白いホワイトアイ・カブトムシという希少種。 4. 女性参加者がメロンのカットを担当しました。



夏祭りに3年続けて協力 「鶴岡の夏の味覚」で一役

今年度2回目（通算30回目）となる復興支援活動を8月2日、初参加者2人を含む総勢9人が参加して、宮城県東松島市で実施しました。

この日は同市・東名地区の夏祭り行事に協力。鶴岡の夏の味覚を楽しんでいた「だこうと」「だだちゃ豆」「カットメロン」「だだちゃ豆アイスクリーム」を販売しました。（売上は全額支援金として自治会にお渡ししました）

この他、今回初めて参加した難波隆博さん（福祉課）は、この日のために飼育してきたという「ホワイトアイ・カブトムシ」と呼ばれる希少種カブトムシを来場した子ども達にプレゼント。初めて目にするビッグな贈り物に、子ども達は目を輝かせて喜んでいました。

「ただばら」でよく商品を買っていると教えてくれた来場者もいるなど、JA鶴岡の認知度は現地で高まっています。帰り際には、集まった多くの住民からJAの取り組みに対する大きな拍手と感謝のお言葉を頂戴しました。

【参加者】鈴木大亮、佐藤浩市、阿部亮矢（総合企画課）、佐藤文博（総務課）、安在祥子（生産資材課）、眞田綾音（生活課）、難波隆博（福祉課）、加藤以久子（北支所）、木村優友（JAG西郷店）